

自営業者の声 再び消される

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049

12月13日、奥州市議会12月定例会の最終日に、胆江地区消費税廃止各界連絡会（亀梨恒男会長）が提出した「消費税インボイス制度の導入延期を求める意見書採択についての請願」の審議が行われました。

消費税の適格請求書保存方式（以下、インボイス制度）導入を来年10月に控え、中小業者の間で大きな混乱が生じています。売上高1千万円未満の小規模事業者では、約6割がまだ何も手をつけていない状況です（日本商工会議所6月調査）。

中小業者が廃業に 追い込まれる

市内の業者からは「元請業者へ確認したが、インボイス制度を理解しておらず、いまだに返事が無い」「内職の発注業者からインボイス登録を求められた。月数万円でも消費税をおさめるのか」などの声が寄せられています。

市内の業者からは「元請業者へ確認したが、インボイス制度を理解しておらず、いまだに返事が無い」「内職の発注業者からインボイス登録を求められた。月数万円でも消費税をおさめるのか」などの声が寄せられています。

日本共産党の佐藤美雪議員は、「消費税が預かり金ではなく、また、公平・平等な税制でない。取引上立場の弱い中小業者やフリーランス等が廃業に追い込まれる」と指摘し、賛成討論しました。

今野裕文議員も「インボイスの準備できていない中小業者が多く、税理士や税務署等の税務に関わる現場ではかなりの混乱をきたす。延長を求めることは当然だ」と述べ、賛成討論しました。

請願賛成議員（敬称略）

佐藤美雪、瀬川貞清、千葉敦、菅原明、今野裕文（以上日本共産党）千葉康弘、及川佐、小野寺重（以上奥州みらい）

請願反対議員

門脇芳裕、高橋善行、東隆司、千葉和彦、小野寺満、高橋浩、中西秀俊、藤田慶則（以上奥和会）宍戸直美、佐藤正典、小野優、及川春樹、高橋晋（新奥会）菅野至、佐々木友美子、廣野富男（奥州みらい）飯坂一也、阿部加代子（以上公明党）加藤清（無会派）

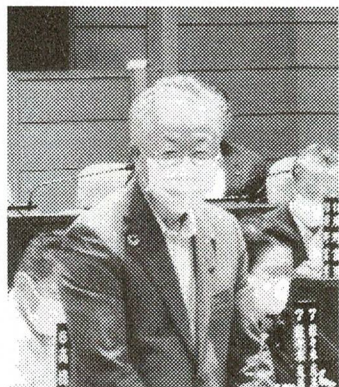
過剰債務に苦しむ 事業者支援策は

激変緩和の体制がとられているから請願に反対
新奥会の佐藤正典議員は、「すべての業者が消費税を納税する制度となる」、公明党の阿部加代子議員は、「激変緩和の体制がとられている」とそれぞれ、地域業者の悲痛な声を顧みない内容の反対討論をしました。
請願は賛成8名、反対19名となり、不採択となりました。

一般質問続報

コロナ禍の中、物価高騰・異常円安によって、地域経済は大きく落ち込んでいます。水沢駅通りのメイプルは電気料金的大幅値上げの影響で、来年4月に閉店することとなりました。更地が増え、街並みが大きく変化しています。

千葉敦議員は、長引くコロナ禍、物価・原材料の高騰の中、「コロナ対応融資（実質無利子・無担保のいわゆる『ゼロゼロ融資』）過剰債務感が大きくなり、融資返済に苦慮している事業者へのサポート体制について、伺いました。



倉成市長は「政府では、返済が本格化する前に、融資の保証のため企業が信用保証協会に支払う保証料を低く抑え、期間の長い融資への借り換えを促す制度の創設をすすめている」と述べました。

倉成市長は「一部事業者では、すでに返済が始まっている。企業振興課内にある新型コロナウイルス相談窓口において、各種相談に対応するとともに、各事業者の個別の相談に対応できるように関係機関・金融機関と連携をすすめる」と述べました。

コロナ相談窓口で 個別に

「ゼロゼロ融資」を
当面「別枠債務」と
するべき

千葉議員は、地域経済回復が見えない中、日本政策金融公庫や県の「ゼロゼロ融資」を当面「別枠債務」とし、新たな資金調達ができるようになることが必要ではないか、と主張しました。

軍事ではない対話の
平和外交を！



日本共産党
衆議院議員
高橋千鶴子

12月2日



#憲法9条改憲 No! ウイメンズアクション# 有楽町イトシア前で女性たちの宣伝に参加、大軍拡反対、戦争をしかける危険を止めよう！と訴えました。
#反撃能力と呼ぶ敵基地攻撃能力について、自民・公明が合意！なぜ攻撃される前にミサイルを撃ち込むのに、抑止力とか自衛の範囲とか言えるの？と。
あの国は敵だ、ミサイル撃つから危ない、といって軍備を整えるのですか？なぜ話し合わないの？アジアではじまっているのに。軍事ではない対話の平和外交が。